

## ノート PC の高品質化技術

Technologies to Support High Quality Notebook PCs

## 巻頭言

## ノート PC に期待される品質性能の重要性

Importance of Quality in Designing Highly Dependable Notebook PCs

2006年に全世界で出荷が予測されるパソコン(PC)は、統計会社のデータによると2億台にも上ります。この台数は10年前の出荷台数の270%に相当し、今後も2010年にかけて、PC市場は対前年比10%程度を維持したまま伸長していくことが期待されています。内閣府経済社会総合研究所の消費動向調査によれば、2006年度における日本国内の家庭へのPC普及率は約70%に達すると予測され、PCが、ビジネスシーンだけではなく、私たちの生活に広くかかわってきていることを示していると言えます。

東芝のPCが今後もより良いツールとしてユーザーに受け入れられるために、VOC (Voice Of Customer)をベースとしたニーズの発掘とシーズの提案の両面から開発を進め、“True Mobile PC (真のモバイルPC)”を提供しようと努めています。機能面では、ワイヤレス通信技術によるシームレスコネクション、セキュリティ技術、及び堅ろう設計を提供できるようにし、これらの機能を支える基本性能として、高品質化による高信頼性を追求しています。

前述のようにPC市場が飛躍的に台数規模を拡大してきたなかで、True Mobile技術の実現により、PCの使用シーンも多様化するという大きな変化が起きました。決まった場所にPCを固定して使用する的方法から、PCを移動させて使用する、更には、移動しながら使用することが可能になったわけです。

このような背景のなかで、“いつでも安定して動作する高品質PC”に対する要求がますます大きくなってきています。この高品質化をユーザーに対する新しい価値の創造ととらえ、バリューイノベーションを起こそうというのが当社の高品質PCへの取組みです。当社は、全社プログラム“イノベーション戦略 (i-cube)”を展開し、開発から販売までのバリューチェーンをよく考えるという発想で、それぞれのフェーズでイノベーションを起こしてきました。

ここで紹介する内容は、それぞれのイノベーションの成果についてまとめたものです。いろいろな取組みの結果、dynabook Satellite Kシリーズでは市場故障率を低く抑えることができ、当社の開発の方向が正しいものであったと考えています。今後の新製品開発においては、これらについて更に高いレベルを追求するとともに、多くの機種への展開を推し進めていきます。



竹谷 光巨  
TAKETANI Mitsuhiro